

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2009年度
Bコース（備品購入応援コース） 助成事業報告書

2010年5月16日

団体名（ふりがな） 青少年と障がい者の自立支援センター とっておきの広場

購入物品名 電話機・デジタルカメラ・掃除機・ファンヒーター・ポット・レンジ

助成を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。
（購入した物品の写真は必ず添付してください。）



- 1) 電話・FAX機：電話・FAX機が設置されることにより、今までスタッフがそれぞれ自宅に持ち帰って行っていた事務作業を事務所で行うことができるようになった。
- 2) デジタルカメラ：これまで私物のカメラを使用していたが、だれもがカメラを使って行事の記録等を撮れるようになった。
- 3) 掃除機：家庭用の古い掃除機を2台譲り受けたが、間もなく壊れて使用できなくなっていた。今回の助成金で、業務用掃除機を法人価格で購入し、広いスペースを楽に清掃できるようになった。
- 4) ファンヒーター：20年使用されたストーブを使用していたので、排気のこと気が気になっていた。新しいものになったので省エネの点でも満足のいくものになった。
- 5) 電気ポット：利用者が増えて各部屋に1台はポットが必要になった。サロン・フリールーム・食堂に各1台設置した。（他の2台は中古品）
- 6) 電子レンジ：昼食はサロンで暖かい汁物を作って提供しているが、主食はおむすび等を各自持参している。暖かいおむすびを食べられるようになった。
- 7) 延長コード：毎週1回開いているパソコン教室で使用している。

今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか

- * 当事者もスタッフ(ボランティア)も共にできることで参加している。
特に当事者は社会参加や就職した場合のことも考慮して、何でもできるよう種々の仕事に携わるように誘導している。
数ヶ月前から来所している30代の自称引きこもりの男性が、料理や掃除、草取りなども手伝ってくれるようになり、表情も明るくなったのでみんな喜んでいる。
また、他の利用者たちも休むことなく、開所日を楽しみにしてくれている。
- * 地域に対しては、コンサートや清掃活動を通して理解を求めている。
土・月の開所であるが、集ってくる人の数を見て驚かされている。
- * 中途障がい者の家族からは特に喜ばれていると感じている。

今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか

サロンに集う人たちに、おいしい飲み物や手作りのお菓子などを提供、また一緒に作りたいと思っています。そのために欲しいのはコーヒーメーカーと冷蔵庫です。今使っている冷蔵庫は20年以上前に製造されたものなので、電気代の節約のためにも新しいものに買い換えたいところです。

現在借用している建物は昭和40年代に建築された幼児型児童館のため、トイレが男女共用になっており、気兼ねしながら利用している状況です。今後車いすの方や若い女性の来所を増やすためには、車いす対応のトイレを1カ所作りたいと考えています。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	100000	
自己資金	2720	会費より
合計	102720	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
電話機	27230	
デジタルカメラ	15800	
ファンヒーター	15400	
電気ポット	4780	
電子レンジ	9500	
OAタップ	2890	2本
掃除機	27120	
合計	102720	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

おかげさまで「みんなの居場所」として心地よいサロン、食事処を設置することができました。一緒にお茶を飲み、食事をする中で、みんながやさしい気持ちになっていることを感じています。